

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	玉名市役所			代表者名	藏原隆浩
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	議会事務局	連絡先電話番号	0968-75-1155
担当者役職	参事	担当者氏名	徳永優貴	連絡先E-mail	
住所	865-8501 熊本県玉名市岩崎163番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	自治体DX推進人材育成研修
概要	自治体職員を対象としたDX推進に関する啓発・研修の実施。現場起点の業務改善や情報発信力の向上を目的とし、講師による講演およびワークショップを通じて、職員の意識改革と実践的スキルの習得を図る。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	284K	令和8年2月12日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和8年2月5日	講演(実地)	10時00分	17時00分	60
			活動時間(分)	360	
2-2. 派遣場所	会場名	玉名市役所 4-2会議室		最寄駅	新玉名駅
	所在地	熊本県玉名市岩崎163番地		最寄駅からの交通手段	タクシーまたは公用車でお迎えに行きます

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	この研修は、DXの本質を「業務改革」と明確化し、具体的な事例とツール提示で職員のDX理解を深め、実践への心理的ハードルを下げた点が大変良かった。特に「やめる」から始めるという視点や、「自分ごと化」を促すメッセージは、今後のDX推進の大きな助けとなる。
アドバイザーへの要望事項	今後も引き続き職員のマインドセットになるような研修を定期的に行っていただきたいと考えております。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	101人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	80			21

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	少子高齢化・人口減少、複雑化する地域課題、アナログ業務の限界。市民が感じる行政手続きの不便さ(スマホ普及率と利用率のギャップ、紙ベース)。非効率な事務作業(二重入力、情報の断絶、属人化)。職員のDXに対する「決断」と「予算」の不足。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	デジタルを活用した「仕事と暮らしの書き換え」。業務改革(BPR)による生産性向上。現場業務、内部事務、定型業務、窓口業務などの効率化。職員がDXを「自分ごと」と捉え、主体的に推進する意識の醸成。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	行政DXの進め方と「未来へのアイデアノート」の提供。 DXの本質(BPR)、ツール活用、事例(現場業務、内部事務、窓口業務等)の解説。 「小さく始める」ことの重要性、ロードマップ(MVP/内製化から全庁展開)の提示。 DX推進におけるマインドセットの転換と具体的なアクションプランの提示。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進の具体的なアプローチ(ECRS原則、各種デジタルツールの活用)の理解促進。 業務効率化や市民サービス向上に向けた具体的な事例とイメージの共有。 DXは「完璧なシステム」ではなく「小さく」始められるという認識の獲得。 AIの活用やRPAによる業務改善の可能性を提示。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	令和7年度 玉名市職員研修「行政DXの進め方」資料。 DX推進のための具体的なツール図鑑、実装ロードマップ、アクションプラン。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	デジタルデバインドへの対応策の実行。 DX推進に必要な「決断」と「予算」の確保。 「ゾンビタスク」の排除や無駄の削減。 現場でアイデアを出し、主体的にDXを推進する文化の定着。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回の研修ではアンケートを行う予定がなかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
	玉名市情報化推進計画を履行	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXを通じて事務作業を減らし、職員が市民と向き合い、新たな企画を考える時間を創出。 人間らしい生活を送りながら、デジタルを活用して仕事と暮らしを「書き換える」市役所。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

